

3つの目標 ～4月から3ヶ月たちました～

梅雨本番、湿気が多く、じめじめとした天気が続いていますが、大宝っ子は、水泳学習や校外学習、学区探検等、様々な行事に元気いっぱい取り組んでいます。朝、通学路に立っていると高学年の子が、下学年の子のお世話をしながら登校している姿をよく見かけます。大宝っ子は本当にやさしい、面倒見の良い子が多いなあ、とほほえましくなります。

さて、4月の始業式では、子どもたちにがんばってほしいことを3つ、お話ししました。

※4月の始業式での放送原稿より

それでは、新しい学年の初めに、みなさんに頑張ってもらいたいことを3つ、先生からお話をします。

1つ目は、「**友だちにやさしくしてほしい**」ということです。お友だちの表情や様子をみて困っていないかなあ、何かできることはないかなあ、と考え、声をかけたりやさしく接したりする子になってほしいと思います。みんなのあったかい気持ちでやさしさあふれる大宝小学校にいきましょう。

2つ目は、「**ねばり強くとりくむ**」ということです。「無理!」という言葉は校長先生は好きではありません。どんなこともかんたんにあきらめることなく、最後までねばり強く、やりきってほしいと思います。

3つ目は、「**何でも丁寧にしてほしい**」ということです。例えば、ノートやプリントなどに字を書く時は丁寧に書く。線を引く時には定規を使って線を引く。本を机の上に置く時などは、ポンと投げたりしないで、優しく置くなどです。物を丁寧に使える人は、友だちや周りの人にも優しくなれます。

4月から3ヶ月経過した今、子どもたちの様子を見てみると「先生、1年生が困っていたから、連れてきたよ。」「ぼく、去年よりていねいにノートを書いてるで。」「25メートル、泳ぎきれたよ。」など、うれしい報告を受けます。子どもたちなりに3つの目標を意識してくれているようです。ご家庭でも、この3ヶ月をふりかえり、成長が見られるところは大いにほめて認めてあげてください。

こうちよう まつはま ひでゆき
校長 松濱 秀幸

命の学習 ～きせき・かけがえのない あなたの命～

大宝小学校では、小学校6年間を通して、児童が 自分と他者の体・心・命を尊重し、安全で安心できる関係を築く力を身につけることができるように数年前より助産師さんをお招きして、「命の学習」を全学年で学んでいます。生まれてきたことは奇跡の連続・赤ちゃん人形・二次性徴等、命の学習を通して子ども自身が自分のかけがえのない命を実感できるように学習を進めています。このような学習の積み重ねにより、自尊感情の高まりを期待するとともに、子どもたちには、自分自身を大切に、自分らしく生き生きと生活してほしいと考えています。

